

愛されて2周年 せんとぴゅあⅡ

せんとぴゅあⅡは、2018（平成30）年7月7日にオープンしてから2周年を迎えました。日頃からご利用いただいている感謝の気持ちを込めて開催した記念イベントをご紹介します（現在は終了）。今後ともみなさまのお越しをお待ちしております！

ほんの森で新しい本に出会う

「教えて！みんなのお気に入り」と題して、ほんの森で出会ったオススメの本を、葉っぱの形をしたポップでみなさんに紹介していただきます。葉が日に日に増えて元気になる「知恵の木」写真Ⅱ。本は人におすすめるのと読んでみたくなったり、自分のお気に入りをおの人に好きになってもらえたら嬉しくなるものです。ポップを通してそんな交流が生まれました。

他にも、ほんの森スタッフがセレクトした本を読んでピンゴを目指す「ほんの森ピンゴ」を実施。自分で本を選ぶとジャンルがかたよりがちですが、新しい分野の本と出会えば新たな発見があるはず。ぜひ「こんな本を読みたい」「オススメの本は？」とほんの森スタッフに聞いてみてください。



総領事館が協力、韓国文化を紹介



駐札幌 大韓民国 総領事館（朴堅圭（パクヒョンギユ）総領事）より、韓国の文化、旅行、ポップカルチャーなどを紹介した日本語表記の本137冊を寄贈いただきました（すべて「ほんの森」で貸し出しています）。

朴総領事は「より良い関係になるにはお互いをよく知ることが大切。本を読むことで韓国文化への理解を深めるきっかけになればうれしい」と挨拶。

本は映像よりも「考え方」や「文化」がよく伝わってくる媒体です。絵本や料理本などの親しみやすいものも多く、初日からさっそく借りていかれた方も多くいらっしゃいました。

7月4日には韓服（チマチヨゴリ）折り紙体験会が行われ、4回に分けて8組の家族が参加しました。上半身と下半身で別々のパ



ソになっており、鮮やかな色彩や模様を組み合わせて楽しむことができます。

体験室では7月20日までの間、『K-BOOKを通して出会う韓国展』が開催されました。韓国で親しまれているお酒Ⅱ写真手前Ⅱや、東川町と文化交流協定を締結している寧越（ヨンウォル）郡がある江原道（カンウォンド）の絶景を紹介したパネルⅡ写真奥Ⅱ、韓服をモチーフにした工芸品など約80点が展示され、ドラマの中で目にしたことのある鉄製の食器などの「ホンモノ」も間近に見ることができました。



車で映画鑑賞、ドライブインシアター

7月4日・5日は、芝生広場と駐車場で東川町初のドライブインシアターを開催しました。車の中でFM周波数を合わせて音声を聞きながら、320インチの大型モニターで映画を楽しめるイベントです。芝生広場でも、「密」を避けて安全に楽しめるように区画を分け、広いスペースを確保してご覧いただけるように工夫しました。2日間で5本の映画を上映し、合計で車140台と73組に

ご来場いただきました。「開放的な空間で映画を観る」という新たな楽しみ方で、初めて観る映画はもちろん、観たことのある映画も新鮮に感じられたのではないのでしょうか？



噴水、オープン!!



芝生広場のせんとぴゅあⅡ側に小さな噴水が登場！9時から50cm×1メートルほどの高さで噴き上げられており、夏の間、午前9時から午後5時まで涼しげな水を楽しむことができます。見て涼むもよし、水着で突入するもよし。暑い日にはせんとぴゅあで水に触れてみませんか？

館内に海の生き物が出現?



海のない東川に、イルカやタコなどの海の生き物（のバルーン）が駆けつけ、せんとぴゅあⅡの2回目の誕生日をお祝いしてくれました。さわやかな色で暑さもちょっとやわらいだかも？

キタウシンの四季を感じる 展望閣写真展



キトウシ山中腹にひょっこりある『展望閣』。10月19日（月）までの期間、写真展が開催されています（入場無料、毎日午前9時～午後5時）。

1階は越智弘明氏による『岐登牛山の動物』。植物はオオヤマザクラ、カタクリなどが色とりどりに並び、動物は雪原を駆けるキタキツネ、葉から顔をのぞかせる子エゾタヌキ、木の枝にちょこんと乗ったエゾモモンガなど。柱の側面にも展示されているので見逃し注意です！

3階は大塚友記憲氏による『岐登牛山の風景』。ドローンを使って上空から撮影された写真もあり、普段とは違う視点から見た美しい景色に驚かされ、引き込まれます。

季節ごとに姿色を変えるキトウシ山の動物・植物の表情を一度に見ることが出来る写真展となっています。ぜひお越しください。3階のデッキからは東川町を一望することもできますよ。

